

研究・調査報告書

報告書番号	担当
319	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Association between Alcohol Drinking and Metabolic Syndrome in Japanese Male Workers with Diabetes Mellitus 糖尿病の日本人男性労働者におけるアルコール摂取とメタボリックシンドロームの関係	
執筆者	
WAKABAYASHI Ichiro	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Atheroscler Thromb Vol.18 No.8 Page.684-692 (2011)	
キーワード	
糖尿病、日本人、男性労働者、アルコール摂取、メタボリックシンドローム	
要 旨 一般集団における習慣的アルコール摂取とメタボリックシンドロームの関係に対する過去の研究結果には一貫性がなく、糖尿病患者においてこの関係は不明である。本研究の目的は糖尿病患者でアルコール摂取とメタボリックシンドロームの関係を明らかにすることである。糖尿病の日本人男性労働者(n=1960)を非飲酒、軽度飲酒(22g 未満エタノール/日)、重度飲酒(22g 以上および 44g 未満エタノール/日)、超重度飲酒(44g 以上エタノール/日)に分けた。内臓型肥満とアルコール摂取の関係を腹囲、高血圧、脂質異常(高トリグリセリドあるいは低 HDL コレステロール)、高血糖、メタボリックシンドローム(NCEP-ATP III 基準の危険因子が 3 以上)について検討した。非飲酒者に対する高血圧のオッズ比は全飲酒群で有意に高かったが、低 HDL コレステロールのオッズ比は全飲酒群で有意に低かった。非飲酒者に対する高トリグリセリドのオッズ比は軽度飲酒者で有意に低く、超重度飲酒者で有意に高かった。非飲酒者に対する腹囲のオッズ比は全飲酒群では有意でなかった。非飲酒者に対するメタボリックシンドロームのオッズ比は超重度飲酒者で有意に高かったが、軽度および重度飲酒者では有意ではなかった。以上より、糖尿病の日本人男性労働者において過剰飲酒は血圧とトリグリセリドの上昇を通してメタボリックシンドロームリスクと関連することがわかった。	